

# Application for Participation

## Associated Schools Project (ASP)

### for Promoting International Education

「ぼくたち、わたしたちの町 “野依”」  
～地域を愛し、ともに生きる野依っ子の育成～

## Outline of the way the Project(s) will be implemented in the institution

(please use extra sheets if necessary)

### Description of the Project (プロジェクトの概説)

本校では、これまで、生活科や総合的な学習の時間を通して、校区の自然や産業を知る校区探検や高齢者との交流を含む米づくりなど、体験的な学習を実践してきた。このことを「持続可能な開発のための教育」(ESD)の推進に結びつけていくために、これまでの教育課程を見直し、生活科・総合的な学習の時間を中心に児童会活動や各教科も関連づけたESDアクティビティプログラムを策定し、実践を行っていくこととした。さらに、継続実践していくことで、子どもたちが将来にわたって自分の地域のよさに気づき、地域の誇りと愛着をもつことができると考えている。

### Objectives of the Project (プロジェクトの目的)

本校では、ESDを「いのち」の観点から、自分たちが住む町や人のつながりについて学習し、そこを出発点として、野依の「ヒト・モノ・コト」についての学習を深め、持続可能な社会作りの担い手を育む教育としてすすめていきたい。

そのために、本校では4つの活動で、次の目標を掲げている。

#### (1) 地域を知る活動

- ・ 校区探検
- ・ 防災学習

自分たちの住む街を探検し、地域の特徴を知ることによって、誇りと愛着を育んでいく。第6学年では、避難場所や防災倉庫を確認し、自分たちができることを考える。地域の一員としての自覚を高め、地域に情報を発信していく。

#### (2) 地域の施設に関わる人々にふれる活動

- ・ 校区内の保育園児との交流活動
- ・ 地域にある福祉村との交流活動

福祉村で暮らす人々との交流を通して、福祉に関する意識を高めるとともに思いやりの気持ちや高齢者との接し方など実践的な態度を育てていく。

#### (3) 地域の人と関わる活動

- ・ 水稲栽培や野菜作り、昔の遊び体験

地域の老人会との連携を図り、水耕栽培や昔の遊び体験をすることで、お年寄りの知恵を知り地域の方との人間関係を深めていく。

#### (4) 行事等を関連づけた活動

- ・ 運動会、学習発表会、授業参観

児童、保護者、教職員、地域住民が一体となって成果を発表する機会を持つことで、地域のほこりや地域への愛着心を育み、人との関わり、つながりを重視していく姿勢を養う。

### Execution (プロジェクトの実施)

(e.g. through a specially designed course, through an existing course(s) or as an extracurricular activity)

第1学年 みんなであそぼう (保育園児との交流)

第2学年 のより大すき! (校区探検)

第3学年 野依わんぱくたんけんたい (校区探検)

第4学年 今、わたしにできること～障害のある人とともに～ (福祉学習や福祉村との交流)

第5学年 野依お米プロジェクト (校区の稲作クラブの人と一緒に米づくりを行う。)

第6学年 東海地震に備えよう (防災学習)

### 活動を進めるためのESDアクティビティプログラム (平成24年度5年生の例)

教科領域	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
総合	野依お米プロジェクト												
	米作りについて調べよう	米作りに挑戦しよう					作った新米を おいしく食べる には?	収穫感謝の会	まとめの新聞 を作ろう				
国語	質問の手紙を書こう								気持ちを伝える言葉について考えよう				
社会			わたしたちの生活と食糧生産										
理科		生命のつながり											
家庭									元気な毎日と食べ物				
行事			野外活動										

#### (1) 地域を知る活動



校区探検

(2) 地域の施設に関わる人々にふれる活動



保育園児との交流



福祉村での交流

(3) 地域の人と関わる活動



田植え



すがい(※1)づくり

※1 稲刈りの際に稲を束ねる、わらで編んだ縄

(4) 行事等を関連付けた活動



授業参観

**Type of materials to be used (使用する教材)**

「かがやくとよはし」 平成23年4月1日発行

編集：豊橋市立小学校社会科副読本研修委員会

発行：豊橋市教育委員会

印刷：株式会社アプライズ

「小学校キャリア教育の手引き」 文部科学省 平成23年5月

「キャリア教育ノート」夢を見つけ夢をかなえる航海ノート 平成 24 年 2 月 29 日発行

発行：愛知県教育委員会

制作：NPO 法人相互教育ネットワーク 誰でもヒーロー

印刷：凸版印刷株式会社

**Is there any type of evaluation to examine the effects of the project on students' comprehension and attitudes? (プロジェクトに対する生徒の理解と姿勢の評価方法)**

- ・児童の様々な活動への成果を、事後のまとめや感想などから把握する。
- ・学習や活動のまとめとしての授業公開や、学習発表会等での成果の発表や地域への発信を通して、関心・意欲・態度等を観察し、評価する。

上記の評価とともに、学校評議委員を通じた地域からの評価や、個人懇談会でのアンケート調査などから、ESD アクティビティプログラム見直し、命の学習に関する具体的な活動内容の改善を図る。

*On behalf of my institution, I apply for participation in the UNESCO Associated Schools Project and give the assurance that this institution will make an active contribution to the Project, as outlined above, for a minimum period of two years. At the end of every year, I shall submit a report of the Project to the ASP National Co-ordinator of my country.*

(本学校を代表して、ユネスコASPの参加申請をし、少なくとも2年間は上記概要にそってASPに貢献する活動を行うことを確約します。また、毎年ASPコーディネーター(※日本の場合は日本ユネスコ国内委員会)に活動のレポートを提出します。)

---

**Date (日付)**

---

**Principal's name (校長名 (※直筆))**

**Position, (役職)**

**Institution's name (学校名)**